

整理番号：6-1

提言題名：自動車事故現場での消防職員の言動が不愉快だった

**【提言の要旨】**

日本ファブテックの近くで自動車が自損事故を起こしました。狭い道路で車が斜めになったため他の車が通行できなくなりました。駆け付けた警官，消防，誰一人，迂回の指示をしません。私は何十分も案内をしておりました。

事故現場から救急車もいなくなり，見に行くと，誰も車を押して移動させようとしていません。「押したら動くでしょ」と言ったところ，消防の白衣のようなものを着た男性が「タイヤが食い込んで動かないんだよ。俺らだってやったんだ。うるさいこと言うな」と言います。私が周りの人に「押しましよう」と言いました。声かけしたら動くんですよ。何をしていたの？「誰か車に乗ってハンドル切ってください」と言ったところ，「タイヤが動かないから無理だ」とその白衣の男は言います。私，運転席でハンドル切りました。動きます。みんなで押しってもらって，車のすれ違いができる位置に移動できました。この間5分もかかっていませんよ。民間人に言われて不愉快だったのか分かりませんが，手伝いに行くと，文句言われました。

結局，処理の指示は誰が出したんでしょうね。言った言わないのことですが，動かした車のハンドルを握っていたのは私です。変えることができない事実です。こんなネガティブな言葉を言うくらいなら，黙っていたら良いのにとおもいます。特定して指導してください。

(50代 男性 平成30年7月受付)

**【回答の要旨】**

今回の事故現場において，お客様から適切なお意見をいただいたにもかかわらず，当消防本部職員による言動で，たいへん不愉快な思いをさせてしまったことに対し，心からお詫び申し上げます。

今回の件に関し，当該職員に当時の活動状況や，お客様に対する対応の聞き取りを行ったところ，当人は言動が適切でなかったことに気づき深く反省をしております。また，ご提言を受け，当本部として職員に対し注意喚起をするとともに，当該職員に対しては再発防止に努めるよう強く指導を行いました。

今後は，全体の奉仕者としての公務員としてあるべき姿の再教育を行うとともに，住民の皆様信頼される消防職員の育成に尽力してまいります。

(消防本部総務課 平成30年7月回答)